

リオプラス サーフェスキマー

取扱説明書



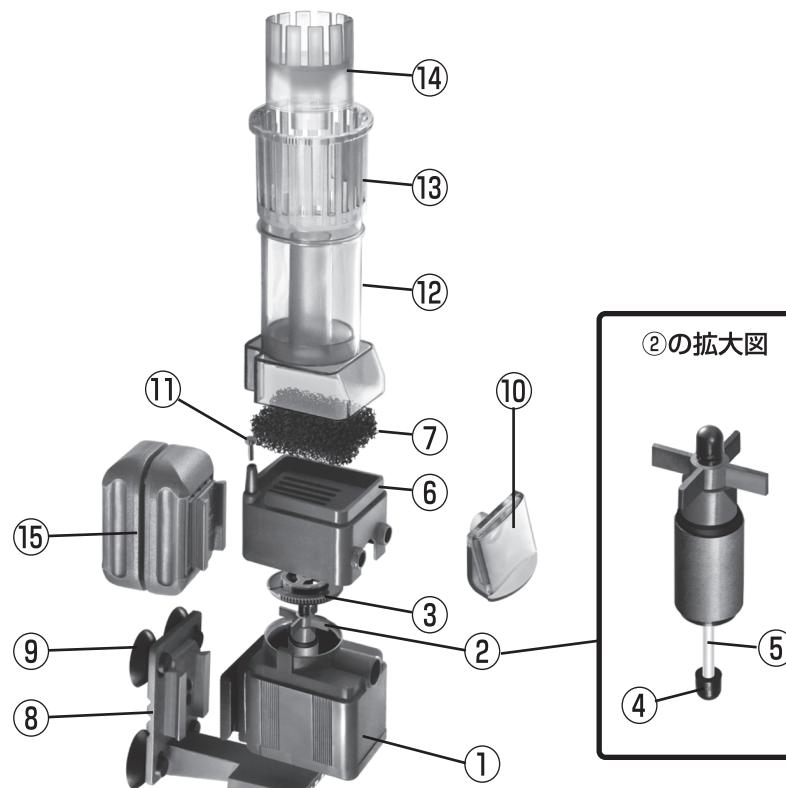
製品をお買い上げいただきありがとうございます。製品をお使いいただく前に注意深く読み、よく理解してください。この取扱説明書はいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

品名品目	観賞魚用ポンプ(サーフェスキマー)
材質	ABS等
原産国	台湾
表示者名 連絡先	発売元 観賞魚を科学する カミハタ 〒670-0073 姫路市御立中3-3-20 Tel.079-297-5420 Fax.079-293-6467 ホームページアドレス http://www.kamihata.co.jp

※この製品は改良の為、予告なしに仕様デザインを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

各部の名称

- | | |
|---------------|---|
| ①モーターハウジング | ⑨キスゴム |
| ②インペラーユニット | ⑩水流抑制板 |
| ③ハウジングエンドキャップ | ⑪エアースッパー |
| ④ゴムキャップ | ⑫ストレーナー |
| ⑤セラミックシャフト | ⑬ストレーナーカバー |
| ⑥ハウジングストレーナー | ⑭フローター |
| ⑦フィルタースポンジ | ⑮マグネットホルダーMM50(別売り) |
| ⑧キスゴムスタンド | ※マグネットホルダー(別売り)を使用する際は、「マグネットホルダーMM50」をお求めください。 |



安全にお使いいただくために

警告・注意などをよく読み、理解してからご使用ください。誤った使い方は人や生体、器具類の火災、感電故障など重大な事故の原因となりますので必ずお守りください。

電源プラグをコンセントから抜く指示

一般的な禁止の通告

使用者の行為を指示する表示

！警告

生体の出し入れ、掃除・点検・移動などで水槽内に手を入れる時は、必ずすべての電源を抜いてください。(感電の恐れあり)



AC100V以外の電源使用はしないでください。(感電・発火の恐れあり)



電源プラグやコンセントは濡らしたり、濡れた手で触らないでください。(感電、発火の恐れあり)



本体を改造して使用しないでください。(感電、発火の恐れあり)



電源プラグの刃の部分やコンセントの汚れやほこりは定期的に取り除いてください。(発火の恐れあり)



本品は水中専用ポンプです。必ず水中にセットしてください。空気中の空回しはしないでください。(誤作動、故障の恐れあり)

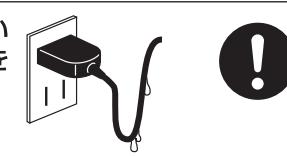


！注意

屋内の観賞魚飼育専用に開発されています。屋外や観賞魚飼育以外では使用しないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)



コードを水が伝ってコンセント部を濡らさないようにしてください。コードをたわませて水を逃がしてください。(感電、発火の恐れあり)



コードを傷めないでください。
[曲げすぎない、引張らない、重量をかけない、たばねない、加工しないなど](感電、発火の恐れあり)



本体を落としたり、ぶつけたりして傷をつけないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)



電源プラグはコンセントにきちんと差し込み、タコ足配線をしないでください。(発火の恐れあり)



本製品はON/OFFの繰り返しを続けるような装置に接続して使用しないでください。(停止、故障の恐れあり)



本製品は50Hzと60Hzにわかっていますので、ご使用になる地域の周波数に合わせてお選びください。



電源プラグを抜く時はコードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。(感電、発火の恐れあり)



本体のコードは使用中に水中で劣化が進み硬化してひび割れを起こすことがあります。定期的に点検を行なってください。



小さなお子様には操作させたり、本体にさわったり、いたずらをさせないでください。(感電、発火、故障の恐れあり)



海水水槽で使用する場合は、電源プラグやコンセント部への塩ダレに注意してください。いつも点検し、拭き取ってください。(漏電、感電、発火の恐れあり)



1日1回は本製品が正常に作動し、水流が正常であることを確認してください。(観賞魚が死に至る恐れあり)



他の人に譲り渡す場合は必ずこの取扱説明書もいっしょにお渡しください。



使用中、異常が発生した場合は使用を中止し、生体の保全と安全のための適切な処置を行ってください。



底砂をご使用の際は、吸い込みを防ぐため、十分な距離をあけてください。(停止、故障の恐れあり)



本製品には異常過熱防止装置を内蔵しています。なんらかの原因で長時間インペラーやポンプ本体が過熱し、異常過熱防止装置が作動します。異常過熱防止装置が作動すると、再使用できなくなりますので、ポンプが正常に作動しているか、定期的にご確認ください。

その他のご注意

●本製品にRio+パワーヘッドとの互換性はありません。インペラーユニットを交換する際は、専用のものを用意ください。

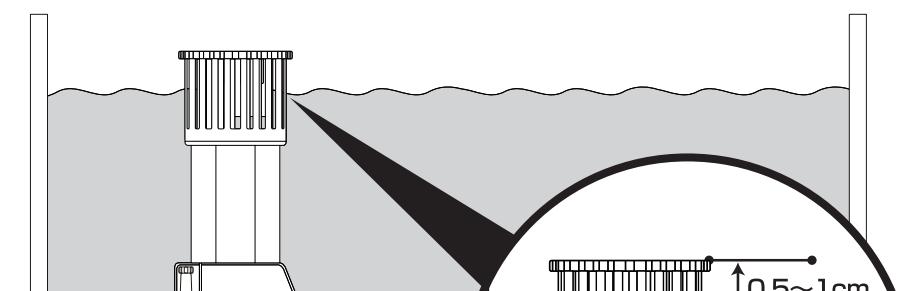
●本製品は主に攪拌を行う装置です。本製品のろ過機能のみで飼育することはできません。

セットの仕方・使用方法

■ 使用方法

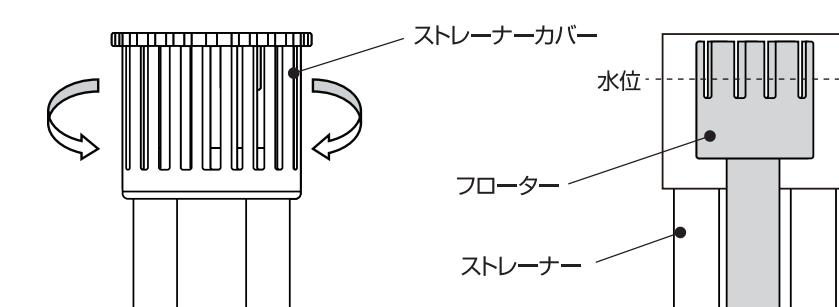
- 水面からストレーナーカバーの先端が0.5~1cm出るように、本体を水槽の壁面にキスゴムでしっかりと固定してください。
- ポンプがしっかりと設置されていることを確認した後、電源プラグをコンセントに差し込み、運転を開始させてください。

※運転開始後および日常管理においては、ストレーナー部分の水位が適正であるか確認してください。ストレーナー部分が全て水面より上に出ると、ポンプが空転し故障する恐れがありますのでご注意ください。



■ ストレーナーカバーの調節

ストレーナーのスリット幅は、ストレーナーカバーを動かすことによって調節することができます。

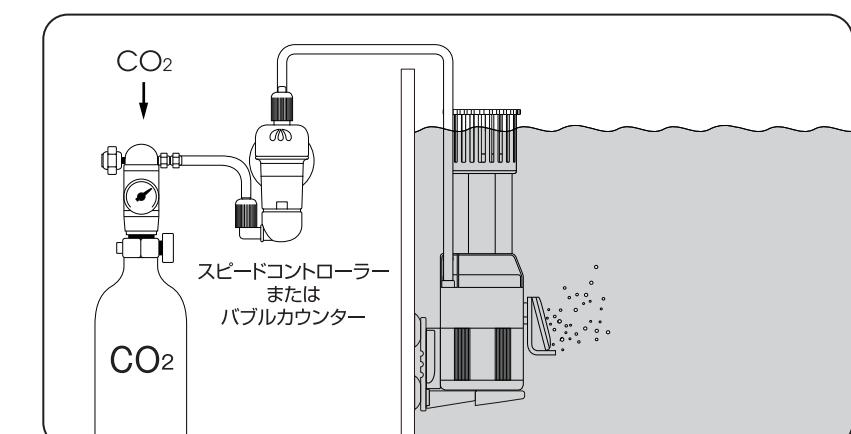
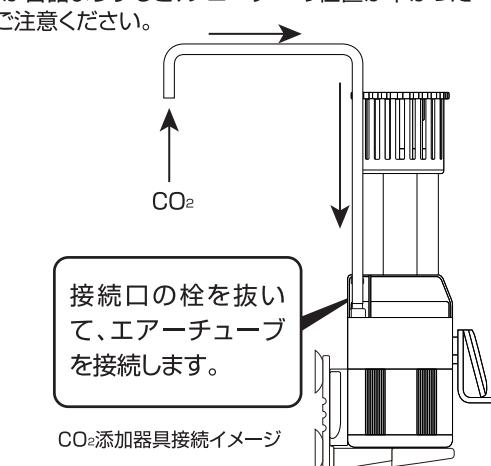


●運転開始後、フローターが浮いている(上下する)状態にあることを確認してください。フローターは、安定して油膜を除去するためにストレーナー内で浮かんだ状態になります。

※ストレーナーが水面より出過ぎると、フローターが正しく機能しなくなりますのでご注意ください。また、飼育水の蒸発によって水槽の水位が下がった場合や、フローターの下部にあるフィルタースポンジが詰まりすると、フローターの位置が下がったり、正しく機能しなくなりますのでご注意ください。

CO₂添加への利用

矢印の部分からCO₂を送り込むことが出来ます。CO₂を送り込む際は、必ず流量が調節できるようにスピードコントローラーなどを使用してください。



※本製品にCO₂添加関連器具は付属していません。別途お求めください。
※過度のCO₂添加を防ぐため、必ず流量が調節できるようにスピードコントローラーやバブルカウンターなどを使用してください。

■ 仕様

本体サイズ(W×D×H)	45×85×170(mm)
製品重量	300g
電源コード長	約1.5m
定格電圧	AC100V
定格周波数	50Hz / 60Hz
定格消費電力(W)(50Hz/60Hz)	1.2W / 1.8W
最大流出量(min)	約3L/min

※50Hzと60Hzで仕様が異なります。ご使用になる地域の周波数にあった仕様の機種をお選びください。周波数の異なる地域での使用は、動作不良、異音、故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

■ 製品寿命について

本製品のポンプ本体(インペラーユニットを除く)の寿命は、およそ30,000時間程度で、24時間連続運転した場合、約3年半です。ポンプの本体寿命はご使用環境や水質などの環境で大きく前後しますので、長期のご使用におきましては、上記期間を参考に点検または買い替えを行ってください。

日常管理・メンテナンス

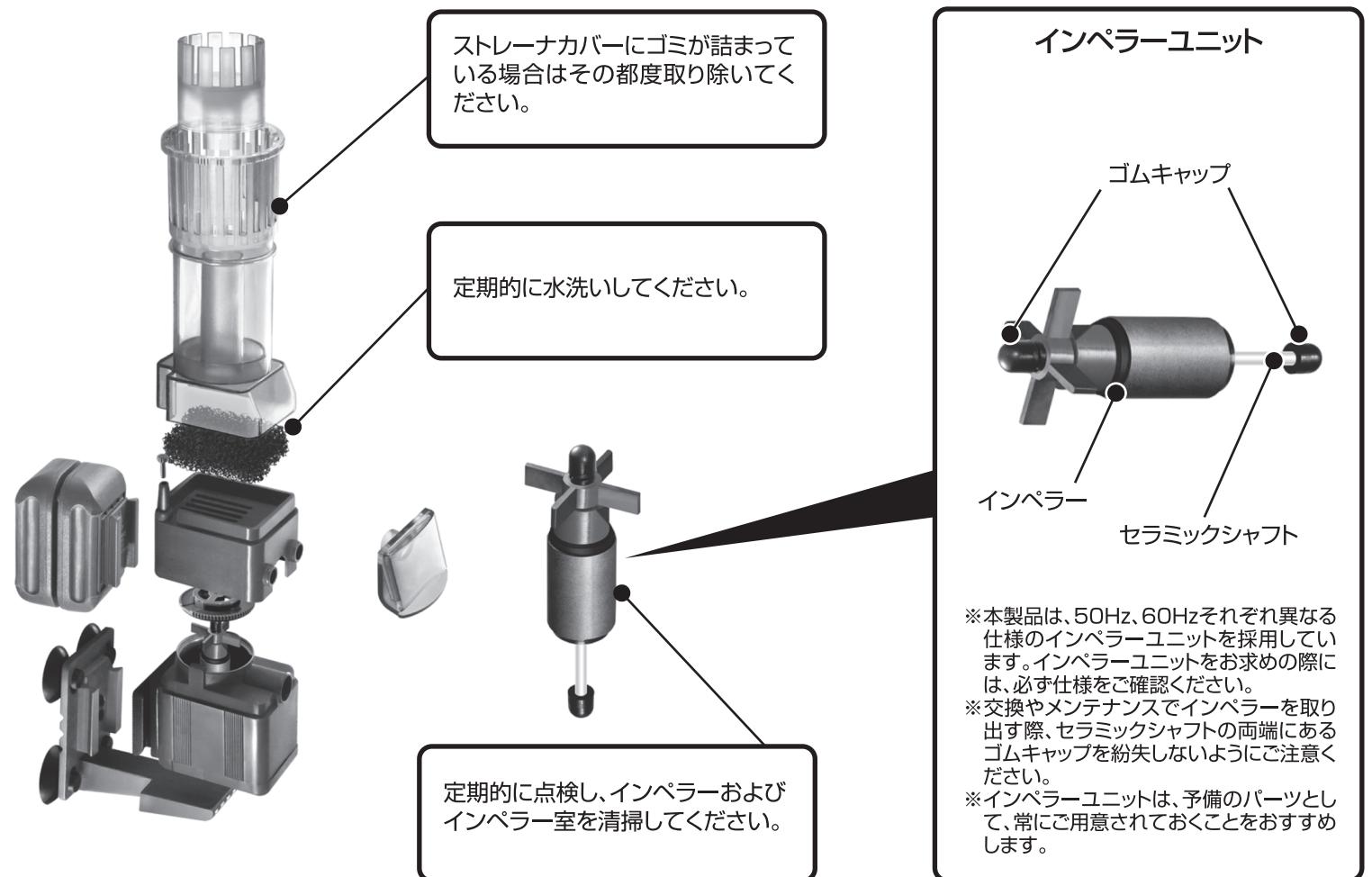
■日常管理

本製品の性能を長期間持続させるために、定期的にポンプの清掃を行ってください。

■メンテナンス

メンテナンスを行う際は、電源プラグをコンセントから抜き、動作を停止させてください。

- 定期的に正常に動作しているか確認してください。
- ストレーナーカバーにゴミがある場合はその都度取り除いてください。
- フィルタースポンジに汚れやゴミがたまって目詰まりすると、フロートストレーナーが正常に動作しなくなります。分解図にならって部品を取り外し、定期的にフィルタースポンジを清掃してください。
- インペラーユニットは消耗部品です。定期的に清掃を行うとともに、定期的な交換を行ってください。(交換の目安:約1年)



Q&A 故障かなと思った時

Q 作動しない。

- A ● 電源プラグが抜けていませんか?

処置⇒電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

- 本体が水中にありますか?

処置⇒本体を水中にきちんとセットしてください。

- ゴミなどが詰まっていますか?

処置⇒ハウジングストレーナー、モーターハウジング、を清掃してください。

- インペラーやセラミックシャフトが破損していませんか?

処置⇒インペラーユニットを交換してください。

- インペラーやセラミックシャフトがきちんと収まっていますか?

(メンテナンス後など)
処置⇒インペラーやセラミックシャフトを入れなおしてください。

Q 水流が弱い、異音がする。

- A ● ゴミなどが詰まっていますか?

処置⇒ストレーナーカバー、ストレーナー、フローター、フィルタースポンジ、インペラーやセラミックシャフトを清掃してください。

- 本体が水中にありますか?

処置⇒本体を水中にきちんとセットしてください。

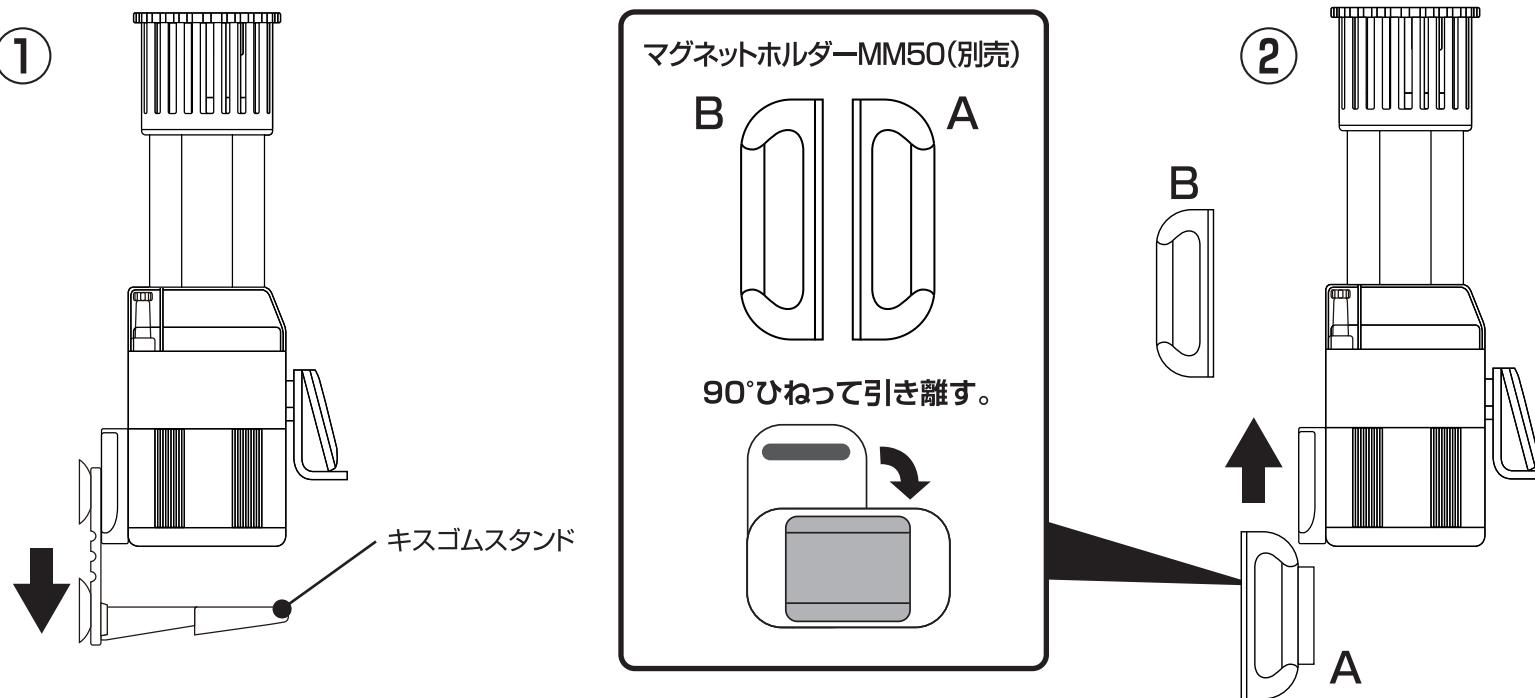
- インペラーやセラミックシャフトが磨耗または破損していませんか?

処置⇒インペラーユニットを交換してください。

マグネットホルダーMM50(別売)を使用したセットの仕方

■使用方法

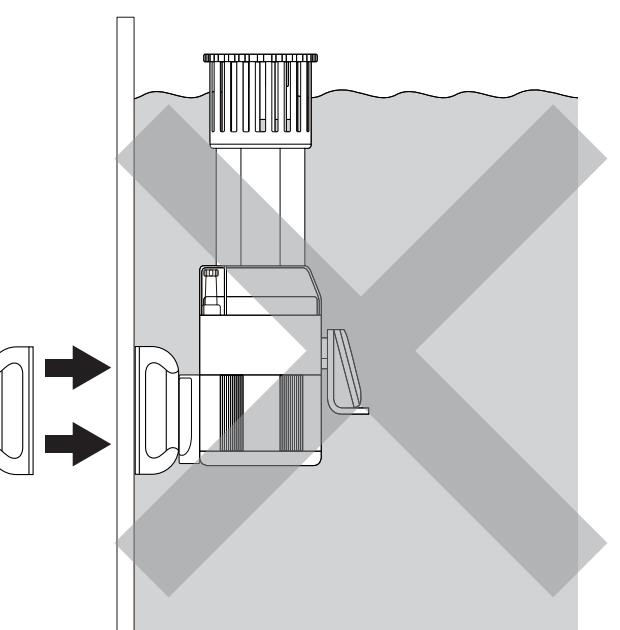
- 本体から、キスゴムスタンドをスライドさせて取り外します。
- マグネットホルダーを90°ひねってマグネットホルダーA(水槽側)とB(水槽外側)を引き離します。マグネットBは他のものに影響のない場所に置いてください。
- マグネットAを本体にスライドさせて取り付けます。
- マグネットAを取り付けた本体を水槽内の適した場所に設置してください。設置場所が平坦であることを、砂などをはさんでいないことを確認してください。
- 水槽の外側から、マグネットBをスライドさせながらマグネットAに重なるまで近づけてください。(下図の正しい設置例参照)
- ポンプがしっかりと設置されていることを確認してください。



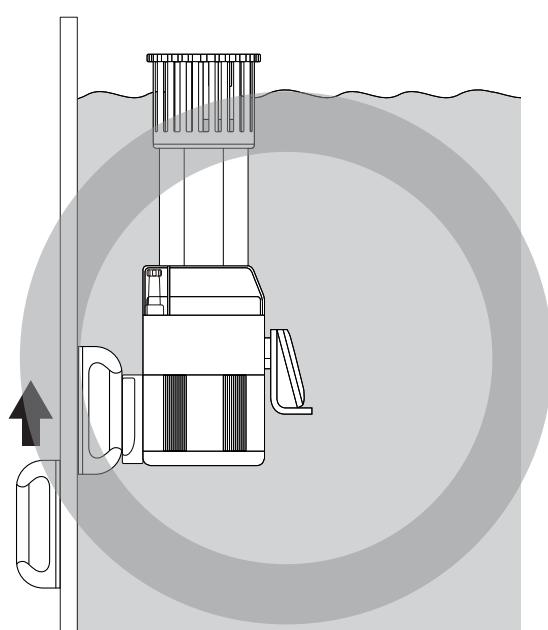
マグネットホルダーMM50(別売)に関するご注意

- マグネットホルダーの磁力は非常に強力です。取り扱い注意!
- マグネットホルダーはおもちゃではありません。子供の手の届かない場所に保管してください。誤った使用はケガや水槽破損の原因となります。
- 機種の仕様に適した厚みの水槽に使用してください。
- マグネットホルダーは磁力で金属をひきつけます。本製品を取り扱う際には必ず周囲に金属がないか確認してください。
- ペースメーカーやデータメモリー、クレジットカード、医療機器から遠ざけてください。データ損失や回路故障の原因となります。
- 取り扱う際は必ず片方ずつ持ち、それぞれを30cm以上はなしてください。
- マグネットは、接触面で指などをはさまれないよう側面を持ってください。
- マグネットホルダーを水槽壁面に設置する際、ゴミや砂のかみこみがないか注意してください。
- マグネットホルダーを正面から近づけて合わせないでください。マグネットホルダーを設置する際は、水槽壁面をスライドさせて近づけてください。

禁止事項(例)



正しい設置例



※空中では運転させないでください。

※電源を入れたまま、水が流れない状態やモーターの動かない状態で放置すると、熱を持って故障の原因となりますので十分ご注意ください。

※セラミックシャフトにカルシウム分が付着すると、インペラーやセラミックシャフトが回転不良の原因となりますのでご注意ください。インペラーユニットは定期的にメンテナンスし、必要に応じて交換してください。